

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 登別市特別支援教育振興協議会交流学習事業補助金
-------------------	--------------------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	3	特別支援教育体制づくり
事務事業番号	001	事務事業コード 52233001 事業開始年度 平成 1 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	特別支援教育振興費
------	------	------------	-----------

部 名	教育部	グループ名	学校教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	登別市特殊教育振興協議会交流学習事業補助金
-----------------	-----------------------

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 登別市特別支援教育振興協議会 (登別市特殊教育振興協議会 改め)
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を最大限に伸ばし、将来、社会人として自立と社会参加を目指すため、特別支援教育指導内容の研究と実践を図る登別市特別支援教育振興協議会が交流学習として実施する宿泊学習事業に対し補助を行う。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 心身に障がいのある児童・生徒が、社会人として自立し社会へ参加することができるような能力を身に付ける。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	交流学習実施回数	回	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	/	/	/	/
	研修会実施回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単 位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	295	295	295	295	295	885
合 計				295	295	295	295	295	885
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	69			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	69			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 各学校において、少人数で学習することが多い児童生徒にとって、登別市特別支援教育振興協議会が行う事業は、社会参加に必要な集団行動の能力、社会性を養う貴重な学習の場となっている。この学習の場を確保するため、本事業により市が補助を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 日頃と異なる環境下での学習は、児童生徒の能力向上に大きな影響を与えている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 補助金による支援の継続と、特別支援教育指導内容研究と実践の奨励。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 協議会の運営は、市の補助と保護者の積立金により行われており、補助金の削減は協議会の事業実施を困難にする恐れがある。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	障がいのある児童生徒の自立と社会参加を可能にするために、児童生徒の能力、個性を伸ばす重要な事業である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）